

グローバル・セキュリティ株式ファンド (3ヵ月決算型)

追加型投信／内外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界各国の株式（預託証書（DR）を含みます。）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年12月18日～2026年6月17日

第41期	決算日：2026年3月17日	
第42期	決算日：2026年6月17日	
第42期末 (2026年6月17日)	基準価額	10,742円
	純資産総額	63,852百万円
第41期～ 第42期	騰落率	2.7%
	分配金合計	420円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

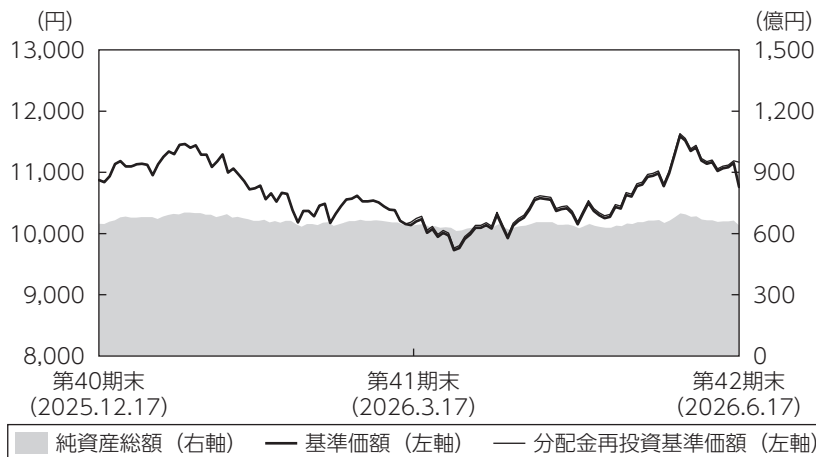
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第41期首： 10,875円
 第42期末： 10,742円
 （既払分配金420円）
 騰落率： 2.7%
 （分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

作成期間中、基準価額は上昇しました。グローバル株式市場は、イラン情勢の緊迫化を受け、インフレ懸念などから一時的に下落する場面もありましたが、4月以降は米国とイランの停戦協議の進展期待などから半導体などAI関連株を中心に、作成期末にかけ上昇基調を辿りました。また、為替市場においても、中東情勢の緊迫化を受けた米利上げ観測の強まりなどを背景に円安が進行し、基準価額にプラスに影響しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第41期～第42期		項目の概要
	(2025年12月18日 ～2026年6月17日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	100円	0.943%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,643円です。
（投信会社）	（ 54）	（0.510）	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	（ 44）	（0.411）	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 2）	（0.022）	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.018	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
（株式）	（ 2）	（0.018）	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	（ 0）	（0.002）	
(d) その他費用	1	0.008	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
（保管費用）	（ 1）	（0.007）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（監査費用）	（ 0）	（0.001）	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
（その他）	（ 0）	（0.000）	
合計	103	0.970	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

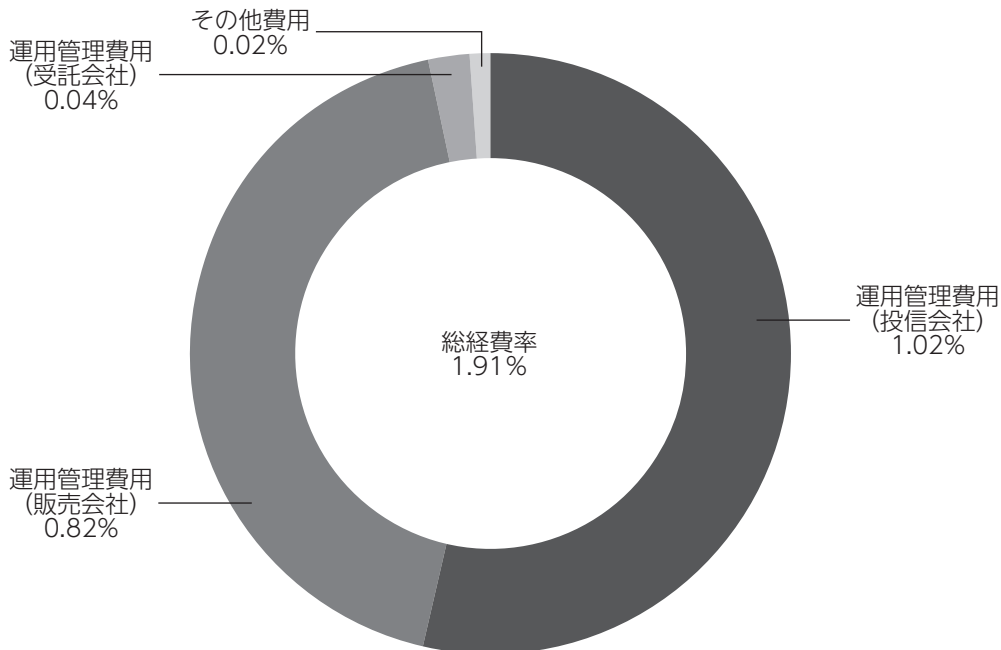
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



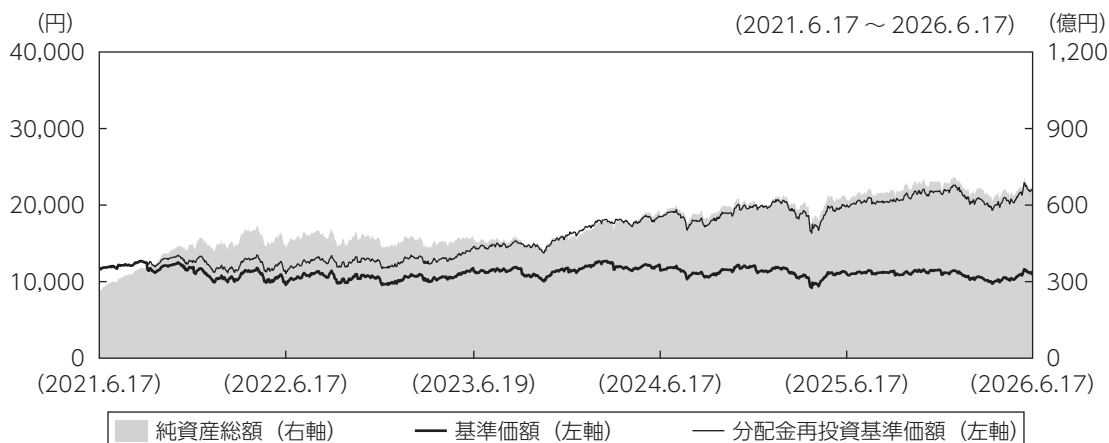
（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



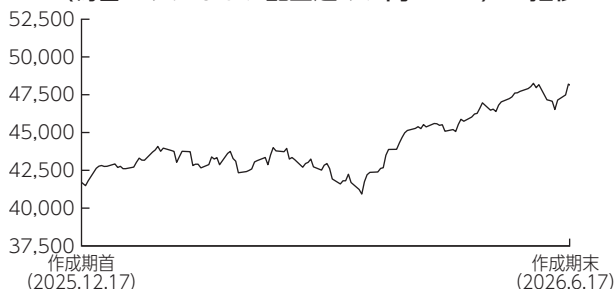
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2021年6月17日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2021年6月17日 期首	2022年6月17日 決算日	2023年6月19日 決算日	2024年6月17日 決算日	2025年6月17日 決算日	2026年6月17日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	11,836	9,722	11,537	11,460	10,938	10,742
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	1,650	1,050	2,630	1,390	1,290
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△5.5	30.4	24.3	7.9	10.5
参考指数の騰落率	(%)	—	1.8	29.8	33.7	5.1	39.3
純資産総額	(百万円)	26,397	43,029	45,579	53,523	61,460	63,852

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はMSCIワールド・インデックス (為替ヘッジなし、配当込み、円ベース) です。参考指数については後掲の「当ファンドの参考指数について」をご参照ください。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いています (以下同じ)。

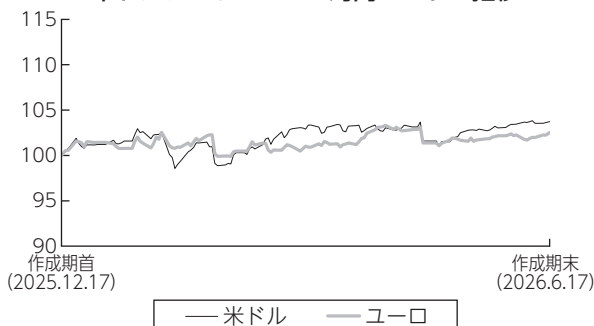
投資環境

＜MSCIワールド・インデックス
（為替ヘッジなし、配当込み、円ベース）の推移＞



グローバル株式市場は上昇しました。作成期初はFOMC（米連邦公開市場委員会）で利下げが決定され、上昇基調で推移しました。その後、AI（人工知能）の普及でソフトウェア株への影響が懸念されたことや、イラン情勢の緊迫化と原油高によるインフレ懸念から、一時的に下落する場面がみられました。しかし、4月以降は米国とイランの停戦協議の進展期待などから半導体などAI関連株を中心に上昇し、作成期末にかけ上昇基調を巡りました。

＜米ドルおよびユーロの対円レートの推移＞



為替市場では、米ドルやユーロ、英ポンドなどの主要通貨は円に対して上昇し、円安となりました。高市政権による財政拡張懸念や中東情勢の緊迫化を受けた米利上げ観測の強まりなどを背景に円安が進行しました。日本政府・日銀による円買い介入が意識され、一時的に大きく円高となる場面もみられましたが、米ドルは高値圏での推移となり、ユーロや英ポンドも同様に円に対して底堅く推移しました。

（注）作成期首の値を100として指数化しています。

■ ポートフォリオについて

● 当ファンド

当ファンドの主要投資対象はグローバル・セキュリティ株式マザーファンドであり、マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持しました。

● グローバル・セキュリティ株式マザーファンド

情報・身体・移動等の安全を支える製品・サービスを提供する企業の中から、優秀な経営陣や製品・サービスの質、利益成長性などに基づく銘柄選択を行い、セキュリティ関連事業の成長を享受できると考える銘柄への投資を行いました。株式組入比率は高位を維持しました。

[組入上位5業種]

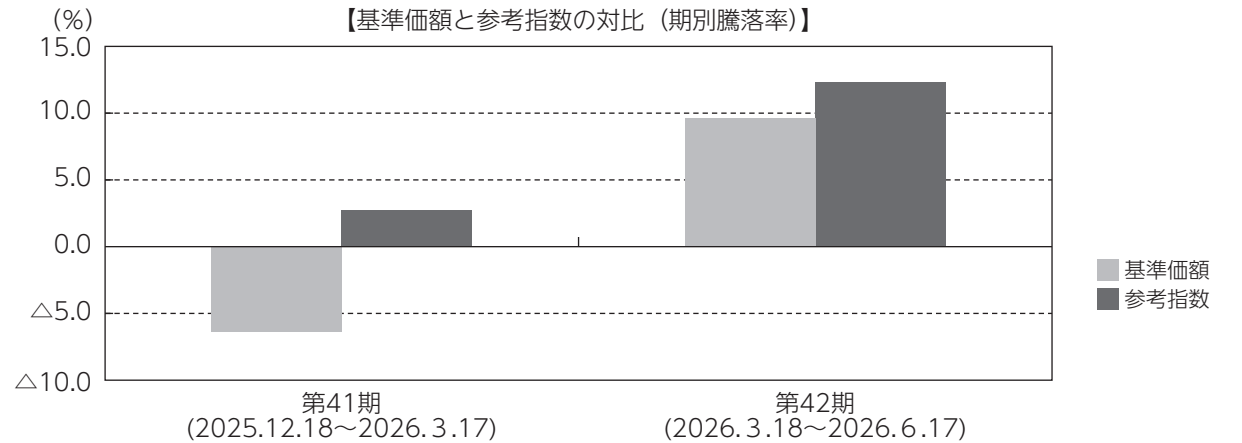
2026年6月17日現在

順位	業 種	比率
		%
1	情報技術	41.1
2	資本財・サービス	27.6
3	ヘルスケア	24.8
4	一般消費財・サービス	3.3
5	—	—

(注) 比率は、グローバル・セキュリティ株式マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当作成期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第41期	第42期
	2025年12月18日 ～2026年3月17日	2026年3月18日 ～2026年6月17日
当期分配金（税引前）	50円	370円
対基準価額比率	0.49%	3.33%
当期の収益	－円	302円
当期の収益以外	50円	67円
翌期繰越分配対象額	216円	741円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

当ファンドの運用方針に従い、マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

●グローバル・セキュリティ株式マザーファンド

企業経営陣のセキュリティに対する関心の高まりなどを背景に、安心や安全に着目した投資は、長期的な成長が期待できると考えます。当ファンドでは、情報・身体・移動等の安全を支える製品・サービスを提供する企業の中から、優秀な経営陣や製品・サービスの質、利益成長性などに基づく銘柄選択を行い、セキュリティ関連事業の成長を享受できると考える銘柄への長期投資を行う方針です。

お知らせ

約款変更のお知らせ

■信託財産留保額の撤廃に伴う所要の変更を行いました。

(2026年3月18日)

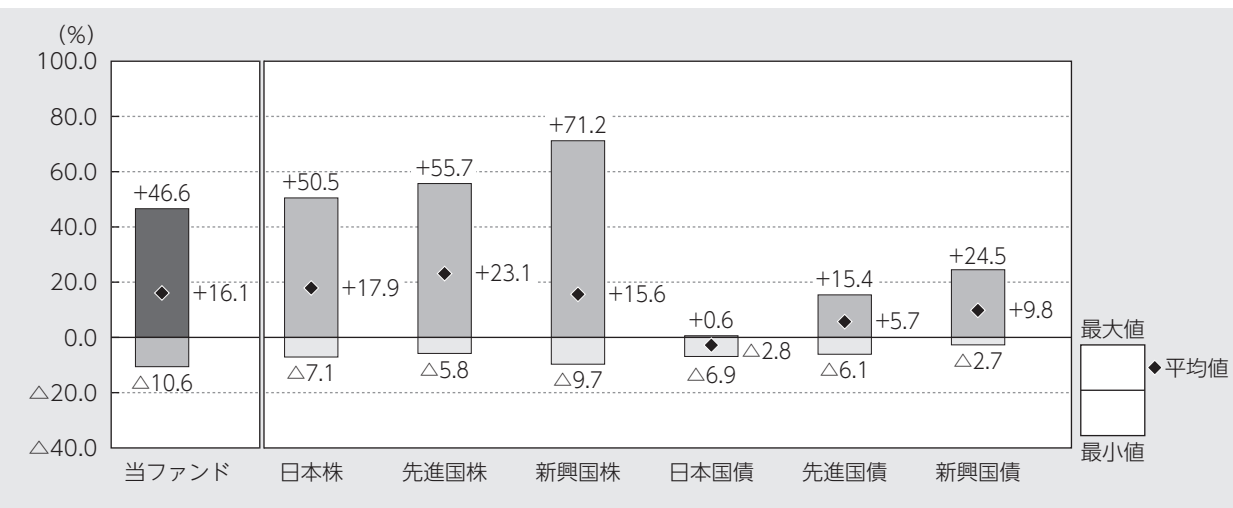
■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「グローバル・セキュリティ株式マザーファンド」において、「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

(2026年4月1日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2015年12月18日から2045年12月18日までです。	
運 用 方 針	日本を含む世界各国の株式（預託証券（DR）を含みます。）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	グ ロー バ ル ・ セキュリティ株式フ ァ ン ド （3 ヲ月決算型）	グローバル・セキュリティ株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	グ ロー バ ル ・ セキュリティ株式マザーファンド	日常生活に不可欠な「情報・身体・移動等の安全」を支える製品・サービスを提供する企業（セキュリティ関連企業）の株式を主要投資対象とします。
運 用 方 法	日本を含む世界各国（地域を含みます。）の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している株式に投資を行います。 株式への投資にあたっては、セキュリティ関連企業の中から、個別企業の製品・サービスや経営陣の質、利益成長性等の分析を行い、投資銘柄を選定します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
分 配 方 針	年4回の毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、委託会社が基準価額の水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2021年6月～2026年5月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

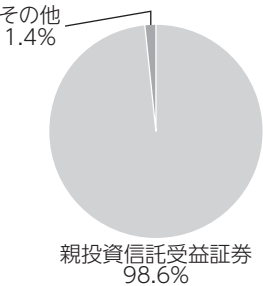
当ファンドの組入資産の内容（2026年6月17日現在）

◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1 ファンド)

	第42期末
	2026年6月17日
グローバル・セキュリティ株式マザーファンド	98.6%
その他	1.4

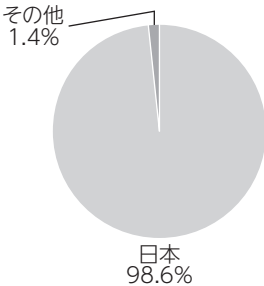
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

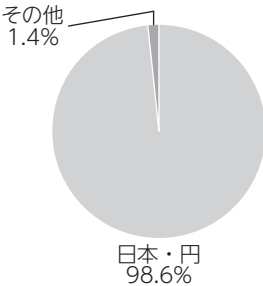


(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 現金等はその他として表示しています。

◆国別配分



◆通貨別配分



純資産等

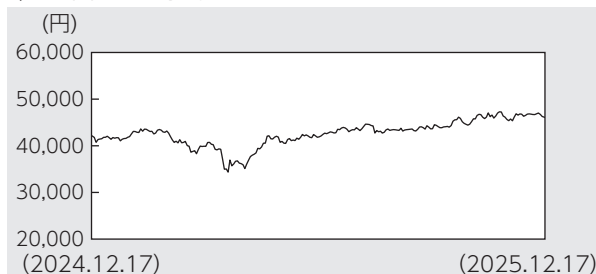
項目	第41期末	第42期末
	2026年3月17日	2026年6月17日
純資産総額	63,469,161,436円	63,852,720,512円
受益権総口数	62,629,175,094口	59,444,848,784口
1万口当たり基準価額	10,134円	10,742円

(注) 当作成期間（第41期～第42期）中における追加設定元本額は6,882,559,322円、同解約元本額は6,885,864,336円です。

組入ファンドの概要

【グローバル・セキュリティ株式マザーファンド】（計算期間 2024年12月18日～2025年12月17日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

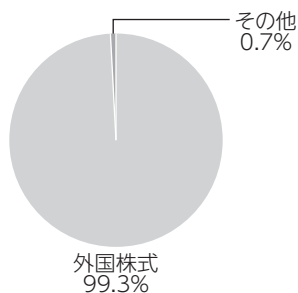
銘柄名	通貨	比率
IDEXX LABORATORIES INC	アメリカ・ドル	3.3%
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	アメリカ・ドル	3.1
HALMA PLC	イギリス・ポンド	3.0
CLOUDFLARE INC	アメリカ・ドル	3.0
INTUITIVE SURGICAL INC	アメリカ・ドル	3.0
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC	アメリカ・ドル	3.0
METTLER TOLEDO INTERNATIONAL INC	アメリカ・ドル	2.9
DIPLOMA PLC	イギリス・ポンド	2.9
HEICO CORP	アメリカ・ドル	2.8
WABTEC CORP	アメリカ・ドル	2.7
組入銘柄数	48銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

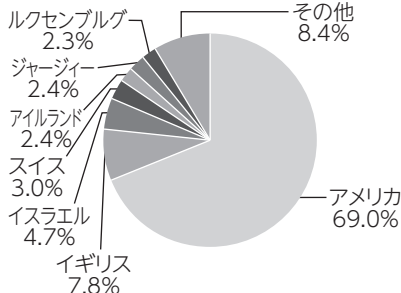
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	8円 (8)	0.020% (0.020)
(b) 有価証券取引税 (株式)	2 (2)	0.004 (0.004)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	6 (6) (0)	0.014 (0.013) (0.000)
合計	16	0.037

期中の平均基準価額は42,631円です。

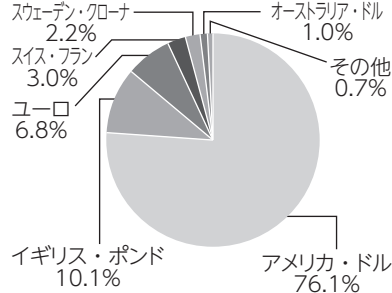
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

●MSCIワールド・インデックス（為替ヘッジなし、配当込み、円ベース）

MSCIワールド・インデックス（為替ヘッジなし、配当込み、円ベース）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

●「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。

●「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「FTSE世界国債インデックス(除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

